

第80回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会2年ぶり18回目の優勝について

JX-ENEOSサンフラワーズ(ヘッドコーチ:佐藤清美)は、一昨日行われました第80回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会におきまして、トヨタ自動車に69対61で勝利し、2年ぶり、史上最多記録を更新する18回目の優勝を果たしましたので、お知らせいたします。

決勝戦では、司令塔の吉田選手を中心に序盤から積極的に攻撃を展開し、前半に一度リードを許したものの中盤以降も着実に得点を重ね、見事勝利を収めました。

また、今大会で活躍した選手に贈られるベスト5に、当チームから吉田亜沙美選手、間宮佑圭選手、渡嘉敷来夢選手の3名が選ばれました。

JX-ENEOSサンフラワーズは、第15回Wリーグにおいても、これまでのところ12勝1敗の成績で首位に立ち、6年連続17回目の優勝に向けて勝ち進んでおります。今後とも温かいご声援をよろしくお願い申し上げます。

1. JX-ENEOSサンフラワーズの成績

日付		対戦チーム	スコア
1月3日(金)	3回戦	早稲田大学	99-67
1月4日(土)	準々決勝	デンソー	67-63
1月11日(土)	準決勝	三菱電機	85-56
1月12日(日)	決勝	トヨタ自動車	69-61

2. 決勝戦の様子



ベスト5に選ばれた渡嘉敷選手



選手とチーム関係者

以上